

特定非営利活動法人 a l aクルーズの 2019 年度通常総会

平成から令和になって間もない5月19日(土)11時より、特定非営利活動法人alaクルーズの2019年度通常総会が開催されました。来賓として財団から、遠藤事務局長、後藤課長、坂崎係長、熊澤氏にご出席いただきました。藤井理事の開会の辞の後、澤野理事長の挨拶があり「昨年は、alaクルーズの活動がスムーズが終えることができ皆さまに感謝しています。



ただ、ワークショップの開催ができなかったのも、今年度はぜひ実施したいと思っています。昨年の5月に岐阜県より功労賞を頂き、私たちの日頃の活動が広がっているのを感じています。会員も8名増え、今年度も多くの仲間クルーズを盛り上げていきたい」と話されました。次に総会定足数報告がなされ、正会員数50名の内、出席者23名、委任状20名で本総会が成立することが宣せられ、篠田氏が議長に選出されて議事に入りました。久米理事より第1号議案：平成30年度事業報告並びに収支決算報告があり、次に荒金理事より収支計画書予算対比表および特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表の報告

がありました。その後、監事2名より、内容は適正かつ正確であることを確認しましたとの報告がありました。続いて、第2号議案：2019年度事業計画並びに事業予算案の承認について、全員の拍手を以って原案通り承認されました。次に来賓の方々の紹介がなされ、イギリス視察から戻られていない衛館長にかわり、遠藤局長からお言葉をいただきました。



「5年前にアールで仕事をしておりました。帰ってきたウルトラマンの心境です。2020年には東京オリンピックが開催されますが、その中で日本人の大事な心 “おもてなし” があります。皆さんがやっていたらいいのも、おもてなしだと思います。皆さんが居て私たちの仕事が成り立っています。人の役に立つということが、自分の為にもなり生きがいにもなる。功労賞を受けられたことを励みに頑張ってください」とのことでした。次に三島理事の閉会の辞で総会は無事終了し、その後、スタッフルームにて、賑やかに交流会が行われました。



水野政雄の世界

心の森 ちいさな生きものたち 8月24日(土)~31日(土)美術ロフト

絵画アート展が開催されました。美術ロフトの中に入ると先生の略歴の横に大きな盆踊りのポスター。『踊り手』の手の動き、足の上げ方が軽やかで、下駄の音が聞こえてきそうです。目にやさしい刺激の少ない色彩が迎えてくれました。今回は、心の森と題してあり、大自然の中で緑り広げられる小宇宙を描いた作品に出会うことができました。

『てんぐ山』は優しい動物たちの表情があふれる、絵本の挿絵になりそうな作品です。『夢の木』・『雨あがり』は、親子で会話がはずみそうな絵。ロフト内にはお子さん連れの家族の姿も多く、楽しい会話がかわさっていました。秋が近いせいもあってか、月が描かれているのが印象に残りました。白くて心が洗われるような満月。先生の心を現しているのかな？ 登場する生きものは？

というと虫や蛇・くも・動物・植物。そして空気のなかにも微生物がいるかのような繊細な筆つかい、宇宙がそこにはありました。会場内を見渡すと、絵画を見終わったご夫婦が満ち足りた表情を浮かべて余韻を楽しんでいらっしゃいました。腰かける木のベンチも用意されていてそこで、書き物をする老紳士の姿もあり、ロフトは憩いの場所に。盛夏を癒してくれた『涼』という絵は滝壺の水しぶきを浴びながら虫たちが木の幹を歩いていきます。



お客様への“おもてなし”のよう。絵画の中にあって異色の壁飾りだった『虫-1』は、缶をリサイクルして作ってある立体的な造形。ペイントされていてカラフルな壁飾りになっています。カブトムシ・カマキリ・カミキリムシが生命を与えられているかのような存在感です。『虫-2』では、タマをころがすフンコロガシなど。こちらは、ペイントされていない作品。よく見ると味付けのりの缶を材料にしているかなと思わせる文字があり、遊び心が感じられます。もったいない精神の具現化ともいえます。絵を飾る額縁はイロイロ趣向がこらされていて魅了された

方も多いのでは。全部で31点が飾られていました。絵画を見終わった先には、紙皿で作られたお釈迦様や魚のつるし飾りを見ることができました。どこまでも、魅了されます。アンケート用紙が置かれた机には紙コップを使った手作りの鉛筆立てが。ブルーで涼やかでした。『ありんこ』の絵でグレイに彩られた砂の模様がきれいだった人や『泉』という絵の中の水の青さに宇宙を感じた人もいたでしょう。様々な思い出を作ることができましたね。この作品展は訪れた方に“心の森”との出会いが実り豊かでありますように、水野先生とalaクルーズからのプレゼント。皆、それぞれの絵との出会いがあり、日常の中に小さな幸福を見出す喜びを発見した人もいるでしょう。絵を描いて下さった水野政雄先生、絵を選んだり、展示してくれたスタッフの皆さん、オアシスをありがとうございました。542人の来場された方は満足されたことでしょう。



主な展示作品

心の森 ちいさな生きものたち・水野政雄の世界郡上おどりポスター・てんぐ山・ 夢の木・雨あがり・森のなかま・朝もや・散歩道・花に集う・虫-1・虫-2・こもればい・泉・月あかり・名月・月夜のパレード・満月・つどい・夜の音色・みんな集まれ・森の朝・緑野・好日・森で・森のつどい・ありんこ・森のパレード・花行列・盛夏・仏陀・魚の飾り・ペン立て(紙コップで作成)など



特別企画 水野政雄氏による

紙工作ワークショップ

ワークショップは8月25日(日)の午前と午後で開催され、親子連れなど28組60名の方が参加されました。また後方で見学されていた老紳士も二人いらっしゃいました。まず始めに「水野政雄先生は郡上八幡からお越しいただきました。遊びながら、ものづくりを一緒に楽しんでください」と澤野理事長の挨拶がありました。次に水野政雄先生は、紙皿一枚で何にでもなるということ、京都大学山中教授のIPS細胞の例をあげて、他の可能性も見いだすことの大切さを語られました。子どもたちには作り方を覚えてもらうことよりも創造性を高めてほしい。子どもたちは同じ方向を向いて勉強するという形だけでなく、いろいろな得意なものがあったほうが面白い。先生は、そういう子を見つけていきたいというお話もされました。興味深いお話を聞いたあと、紙コップにハサミをいれて、宇宙人？らしきものを作成。ボードで坂を作り、その上に作品を置くと、



トコトコ歩いていくではありませんか。「うおー！」子どもも大人も一同大歓声。次は黒い画用紙を取り出して、切り絵がはじまると「何ができるかな？」とワクワク。クワガタムシの出来上がり。先生がクワガタに指をはさまれて「イテテ」とおどけると参加者は大笑い。愉快でした。紙皿に葉っぱとクワガタをホッチキスでとめると壁飾りになりました。あまりに素早くて手品のよう。次々にタコつりやウサギのオモチャ・尺取り虫・音の出るかざ車など、先生の実演の後に親子で作品を作りました。「お母さんできたよ」などと子どもたちは嬉しそう。午後の部の参加者は幼稚園児が多かったです。折り紙をつかい、紙飛行機など作成。クルクル回転しながら飛び飛行機。ものすごく長く飛びます。三角

形の画用紙を「何を作ろうかな？」と水野先生はつぶやきながらハサミを入れたらキリンになりました。他にもライオンやカバ・ワニ・ゴリラ・象に大変身！ 神わざです。先生ならではのワークショップ。参加者は家族の夏の思い出ができた喜んでいました。夏休みの宿題ができましたね。みなさんの『心の森』は創造のエネルギーに満ちたことでしょう。蝉しぐれの夏、小鳥の鳴き声のBGMが流れる中、スタッフの準備に感謝の言葉を繰り返す水野先生。拍手の中、ワークショップは終わりました。

特別企画 水野政雄氏による
紙工作ワークショップ
 親子で楽しむ紙工作ワークショップ
 先生の実演・体験指導のもと、先生やアイデアで身近な材料を使って、紙コップや紙皿を新しい遊び道具に大変身させてみよう！
 ものづくりを楽しみながら、創造力を高めるワークショップ！！
 親子で楽しみながら夏休みの思い出にして頂く機会です。

8月25日(日)
 午前の部 10:30～12:00
 午後の部 13:30～15:00
 対象年齢 年齢別 20名
 会場 岡崎市文化創造センター (1階) 美術ロフト

参加無料

1月30日 受付開始

ハガキまたはFAXで①～④の事項を記入して、下記の「申込先」にお送りください。
 ①参加者氏名 ②性別 ③年齢 ④保護者氏名
 ⑤希望するワークショップの開催(1年数回開催)
 ⑥住所 ⑦電話番号
 ※FAXの申込先は岡崎市文化創造センターです。
 https://www.ipse.or.jp/workshop/



←受付風景

↑
楽しそうにワイワイガヤガヤ

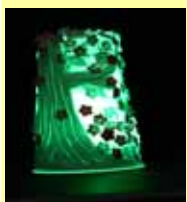
劇場フロントスタッフ養成講座に参加して

2019年度劇場フロントスタッフ養成講座が、7月28日(日)と8月25日(日)行われました。「公演を支えるフロントスタッフに参加してみませんか？」と財団が主催する講座で、alaクルーズの協力事業です。毎年自分を振り返る意味でも講座を受け、スキルアップのためにalaクルーズは両日で19名参加しました。一般の方の参加者は19名で講義を受けました。7月28日は座学です。フロントスタッフはなぜ必要か？公演を進めていくためにはどのようなことをなすべきか等、講師の星乃もと子先生よりお話を伺いました。8月25日は、主劇場を使い、実技の講習です。チケットもぎりの方法・お客様案内のやり方・扉の開閉手順等、時間のある限り実施しました。一般参加者も真剣に取り組んでおられ、クルーズのフロントスタッフも改めて勉強しなおすことができました。何年も経つと、ちょっとした思い違いでやり過ごすことがあります。その思い違いが徐々に大きくなり、間違った方向へ行ってしまう。毎年、星乃先生の講習を受けることで、それぞれの軌道修正が出来ればと思います。お客様が気持ち良く公演を楽しまれて、お帰りになるためにも、私たち活動していきたいと考えています。(k)



イルミネーション事業

2019イルミネーション テーマ『夢と希望』
点灯式 12月7日(土) 2020年2月2日(日)まで
只今制作中 『アラジン』 ご期待ください



ランプシェードワークショップ

12月7日(土) 午後3時から
予約受付 10月15日~11月15日
定員になり次第締め切ります 定員60名



前年のイルミネーション



東京視察研修

11月21日(木)・22日(金)

21日 新国立劇場施設・フロントスタッフ行動
など視察見学

22日 サントリーホール視察見学

トリフォニーホールのフロントスタッフ見学 その他



編集後記

新しい年号になった令和元年もあと残すところ2ヶ月となってしまいました。今年も、大きな災害があったりと大変な思いをされた方も多いかと思えます。最近、毎年のように災害に見舞われていますが、来年こそは安泰の年でありますように願いたいものです。そして、ラグビーワールドカップは当初の目標であった念願の8強に進むことが出来ました。今後はさらに上の目標を指し、何年後には優勝を目指してほしいと思います。さて、来年度アークは大規模な改修工事ではほぼ1年間、主劇場、小劇場などが使えなくなります。毎年イベントを実施してきた団体はどのように予定されているのでしょうか。そして我がアーククルーズは？・・・。少し気が早いですが、皆さんどうぞよいお年をお迎えください。(o)

ala クルーズ事務局

TEL/FAX : 0574-61-3414

<https://www.kpac.or.jp/alacrews/> お知らせ

Mail : al-acrews2@kpac.or.jp ←alaクルーズのメールアドレスが変わりました

ala クルーズ

